

長崎第2団地の建設に伴う周辺への影響は

周辺環境が良好に保たれるようにする

問 災害公営住宅長崎第2団地は地盤軟弱なところ

に建設されるが、関係課で連携を図り、完成後に周辺の住環境が良好に保たれるよう考えているか。

佐藤町長 地盤改良工事を施工し、湧水処理を含め排水計画を関係課で連携し検討している。完成後も周辺住環境が良好に保たれるようにする。

問 完成後、問題が生じ

たときは。

佐々木建築住宅課主幹

周辺は事前に調査している。沈下等が生じれば対応を考える。

問 災害公営住宅入居者の駐車場は足りているか。

町長 駐車場は足りている。今後、入居状況と駐車区画の空きをみて2台目の駐車について考えていく。

問 近くに駐車場がない。



議員 清貴 関 (政和会)



敷地造成が終わり建設が始まる災害公営住宅 (長崎第2団地)

問 旧大浦保育園施設を地域の交流の場等で有効利用する考えは。

町長 年度内に建物を解体する。利活用の考えはない。

問 安心安全な町づくりのため通学路等に防犯カメラを設置する考えは。

町長 現時点で防犯カメラを設置する考えはない。

継続か廃業かと迷っている事業者に支援策は

個別対応で考えたい

問 仮設店舗での営業の方で事業継続か廃業するか迷っている方に、資金面等の支援を考えているか。

問 「がんばる養殖事業」は終了したが、今後、養殖漁業者に支援を考えているか。

町長 関係団体と連携し再建に向けた支援を継続していきたい。個々に状況が違うことから個別での対応を考えている。

町長 事業終了後の支援は考えていないが、漁業共済制度等の助成を継続するとともに状況に応じた支援に努めたい。

小中学校の再編計画は

意見交換する場を設け慎重に進めたい

問 児童生徒の数は減少し、複式学級に移行する小学校も増えていると思うが、5年、10年先を見越した再編計画は。

問 給食センターと学校再編の時期が重なるのでは。

佐々木教育長 震災により心身等に影響を受けた児童生徒もいること等から、学校再編は慎重に進めていかなければならない。教育の在り方について、保護者の在り方について、保護者、地域住民と意見交換する場を持ちながら検討したい。

箱山教育次長 給食センターは決まっていることでやらなければならない。学校の統廃合は丁寧に進めたい。